



かまくらや

異業種からの農業参入

～ 地域社会との連携で創る「持続可能な農業」を目指して ～

株式会社かまくらや
代表取締役 藤本孝介

会社の概要



株式会社かまくらや

【会社所在地】	長野県松本市島立454-1
【 役員 】	3名
【従業員数】	35名（役員3名除く）
【 作物 】	そば・大豆・りんご・たまねぎ ジュース用トマト・野沢菜
【経営面積】	230ha
【耕作地域】	長野県松本市・安曇野市
【 店舗 】	SOBA農房かまくらや そば処かまくらや
【グループ会社】	(株)スズキアリーナ松本 (株)安曇野みらい農園 (A型障がい者就労移行支援施設)

沿革

・ 2009年・・・田中浩二と鎌倉完至が会社を設立	0ha、従業員 3名
・ 2010年・・・そば栽培、製粉事業開始	18ha、従業員 4名
・ 2011年・・・	37ha、従業員 4名
・ 2012年・・・6次産業認定	50ha、従業員 3名
・ 2013年・・・大豆栽培開始 耕作放棄地再生長野県知事賞受賞	58ha、従業員 5名
・ 2014年・・・耕作放棄地農林水産大臣賞受賞 安曇野三郷工場1期、製粉工場完成	65ha、従業員 7名
・ 2015年・・・障がい者1名採用	83ha、従業員10名
・ 2016年・・・蕎麦優良生産者賞受賞、三郷工場第2期完成	94ha、従業員13名
・ 2017年・・・SOBA農房かまくらやを開店	106ha、従業員17名
・ 2018年・・・資本金を2000万に増資	115ha、従業員21名
・ 2019年・・・りんご栽培開始、創業10周年	139ha、従業員23名
・ 2020年・・・そば処かまくらやを開店	159ha、従業員28名
・ 2021年・・・トマト栽培開始（野沢菜、緑大根） 安曇野みらい農園（A型就労継続移行支援事業所）開所	176ha、従業員30名
・ 2022年・・・資本金を7000万に増資	198ha、従業員32名
・ 2023年・・・田中浩二から藤本孝介に社長交代、 日本農業賞長野県代表	219ha、従業員33名
・ 2024年・・・日本農業賞大賞、農林水産大臣賞受賞	230ha、従業員34名

農業参入 経過

› 2008

- * リーマンショックで人も物も動かない…
- * 産地偽装も話題に…
- * 2008年 そば自給率18%



信州 そば
麵 鎌倉
業 倉

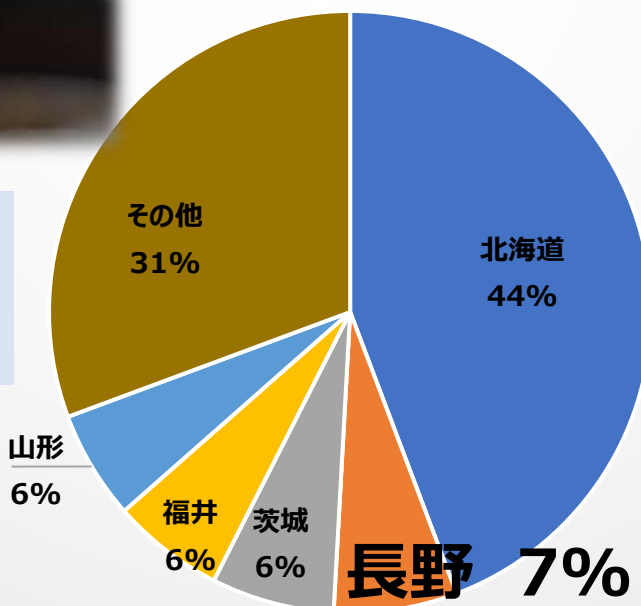
「信州そば」とは？

一般的には 長野県で作られるそばの総称
であると考えられています。

…栽培地？
…製麺地？



令和6年 都道府県別収穫量



› 2009

0ha

自動車販売会社の社長である
田中浩二（現会長）と
地元松本で明治時代から製麺業を
営む鎌倉麵業社長の**鎌倉完至**が

畑も栽培経験もゼロから
「株式会社かまくらや」を創業

- * 生産地も製麺地も信州の
「本物の信州そば」を作る
- * そばの2期作にチャレンジ



› 2010

18ha

しかし…

集落からの信用がなく企業参入も警戒されていたため農地の契約が進まず…

農業委員と2人三脚で耕作放棄地の解消を行い面積拡大

畑ゼロ・栽培知識ゼロから長野県ではあまり取り組まれていなかったそばの2期作を行う

当初から鎌倉麺業に供給するために製粉事業も立上げ信州そば粉の供給も開始

› 2014

65ha

良い畑も悪い畑も断らず引き受け、毎冬には開墾作業を行い面積拡大

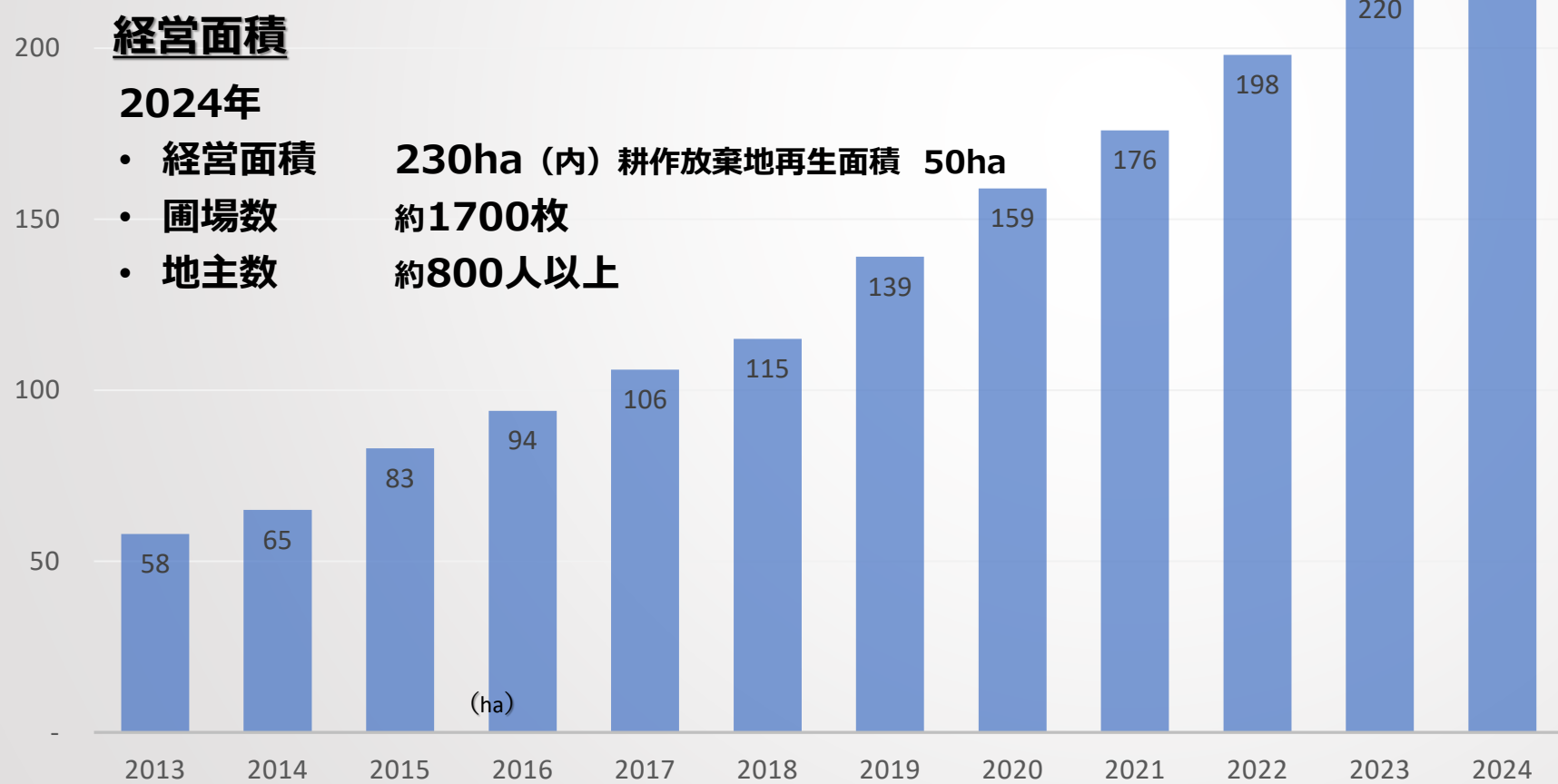
地道な活動が集落からの信頼につながり、畑作・果樹地域などの担い手が少ない集落を中心に行政やJAを經由して耕作依頼が増加していく

耕作放棄地解消事業の農林水産大臣賞を受賞



› 2023

250
耕作放棄地の解消と離農者からの農地を借受けて経営面積を拡大
《 そばの2期作を中心とした作付け 》



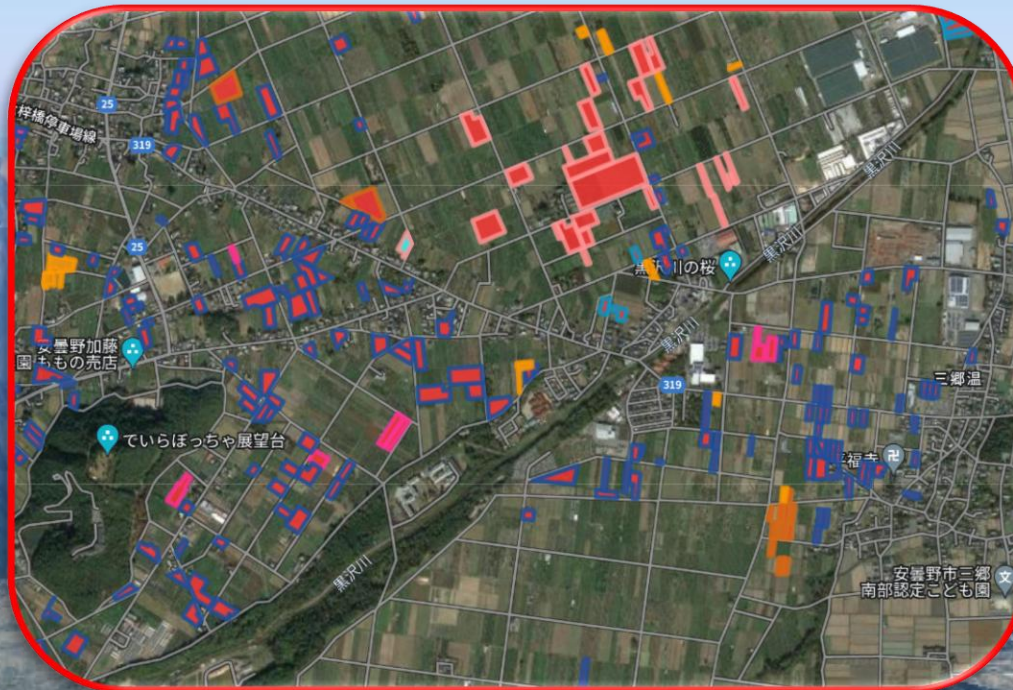
220ha

農地の受け皿として気が付けば200ha以上に…

継続的な農地利用のためにも家業から企業に脱皮する必要
(社会的責任を自覚)

社長交代
事業承継を行い継続的に耕作し続ける企業になるために…

松本市



松川村

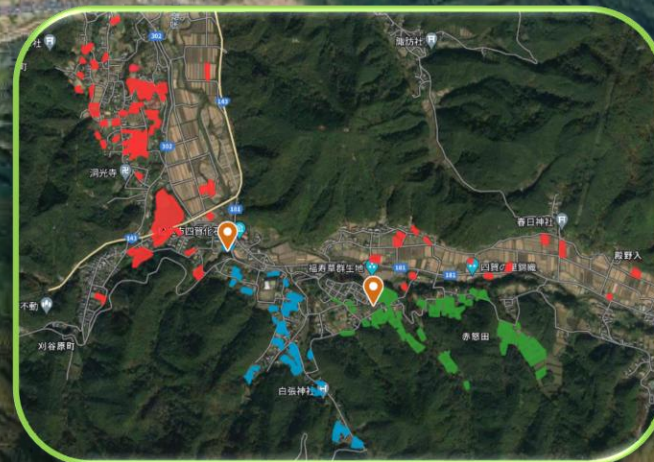
池田町

生坂村

栽培地域 安曇野市・松本市
【経営面積】230ha (2024年現在)



松本市

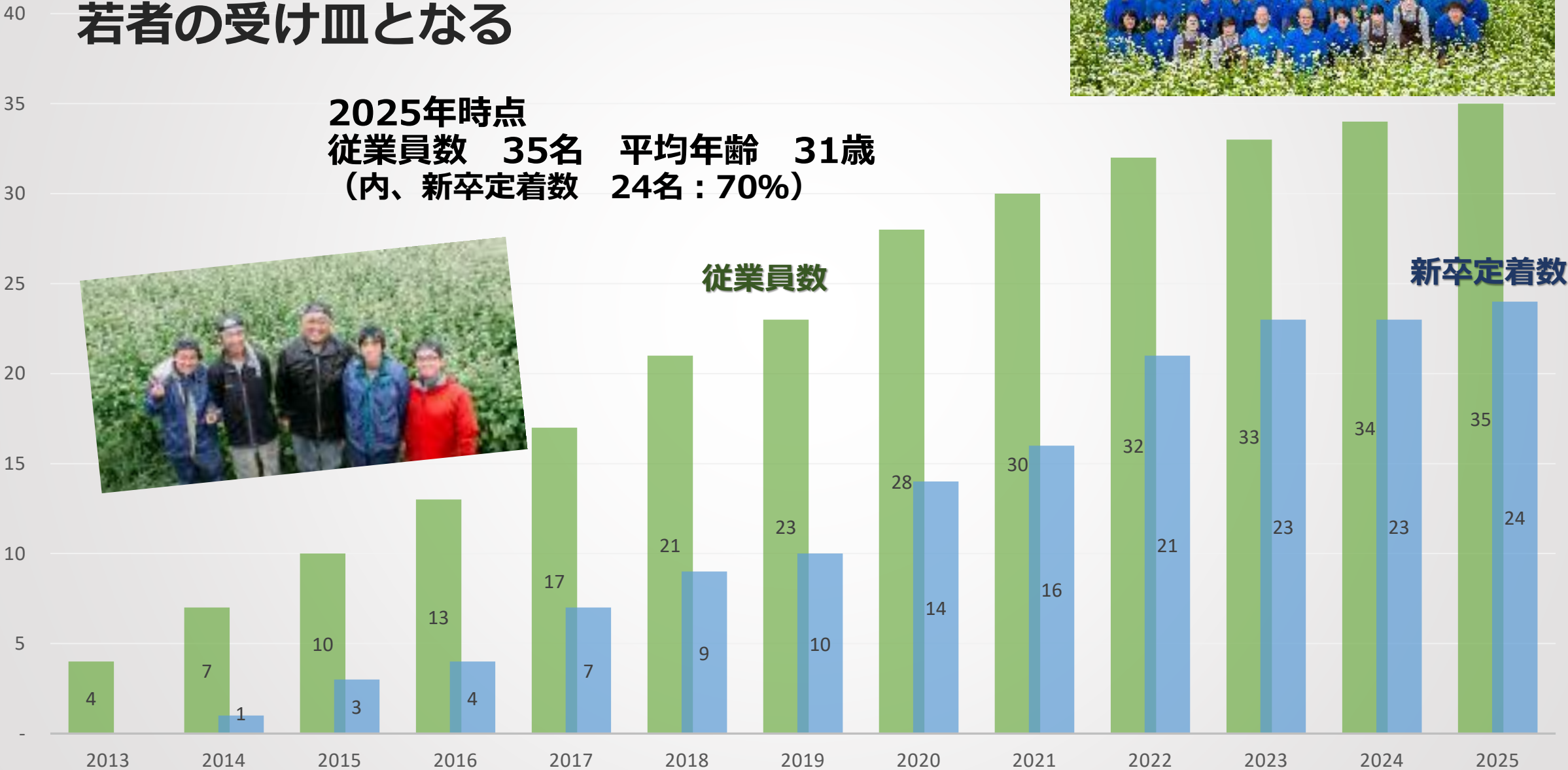


保福寺町

会社勤めのサラリーマン農業を進め、 農業に関心のある農業高校や農業大学の 若者の受け皿となる



2025年時点
従業員数 35名 平均年齢 31歳
(内、新卒定着数 24名 : 70%)



農業(1次産業)

県内最大のそば・ジュース用トマト栽培法人

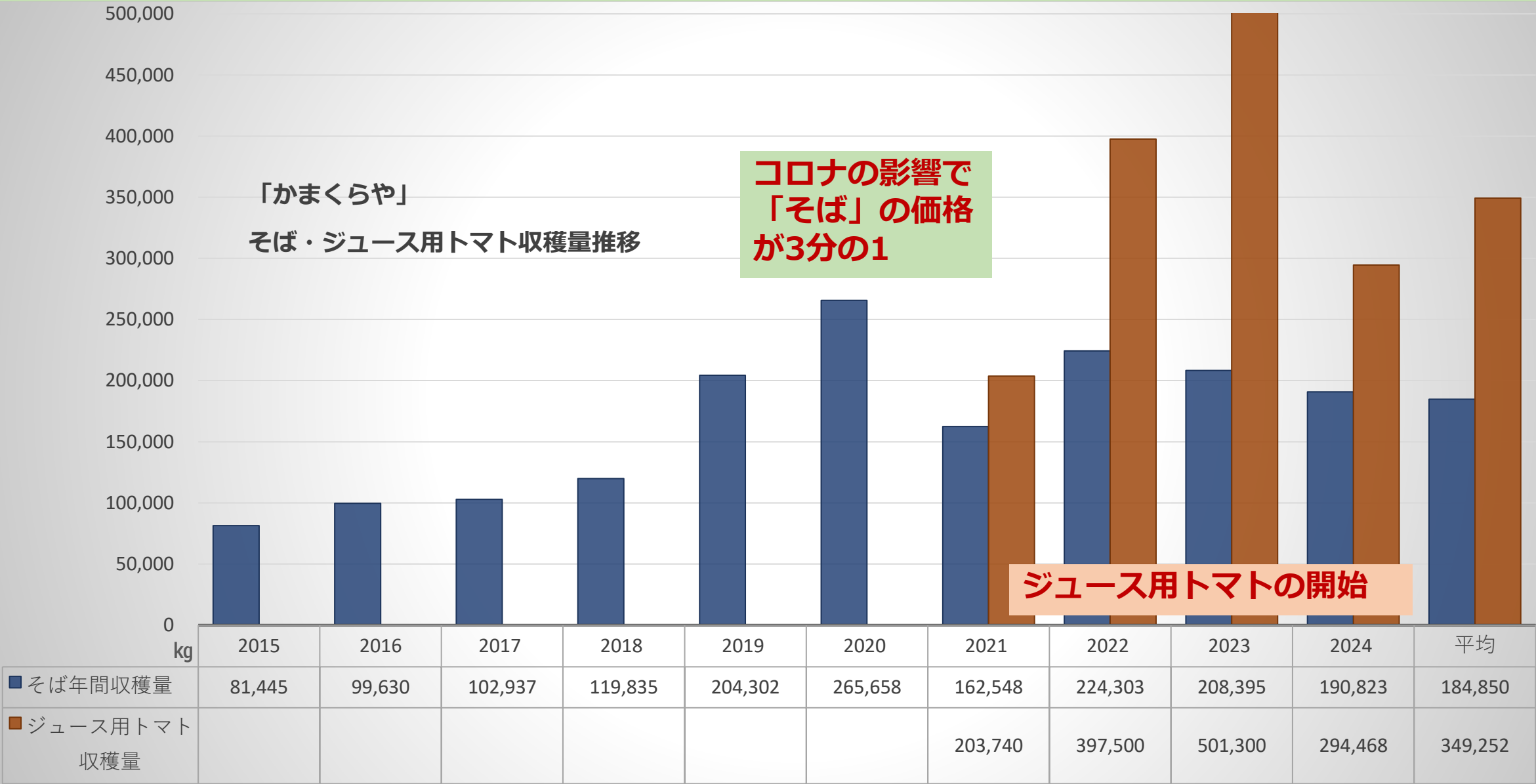
・そば 2024年 栽培面積 120ha×2期作
生産量 200 t (長野県生産量の7%)

・ジュース用トマト
2024年 栽培面積 8ha
生産量 300t (長野県生産量の7%)

その他の作物

・大豆 (40ha) ・りんご(1.4ha) ・野沢菜(7ha) ・にんじん(1ha)
・たまねぎ(1.5ha) ・薬草(2a)

大手製粉会社と契約栽培を行い規模拡大 コロナ禍を契機に「そば」以外のジュース用トマト栽培も開始



* かまくらやの課題

継続的に農業で成長していくためには取り組まなければならない課題も

主な課題	詳細	対策
人手不足（担い手） 所得が低い 労働環境	ワークライフバランス 魅力不足 他産業との格差	* 労働環境の向上
温暖化 気象災害のリスク 鳥獣害被害の増加 収量不安定	中山間農地の増加 収益の不安定化 新規作物の開拓 離農者の増加	* 地域や他産業との連携
低収益性 生産ノウハウ不足 （多品目化・有機栽培） 販売ノウハウ不足	販売力が低い 原材料の高騰 財務基盤が脆弱 社員教育の仕組みがない 生産性が低い	* 生産性向上

＊労働環境の向上

＊地域や他産業
との連携

＊生産性向上



経営理念

愛と正義をまず第一に求め、

地域のニーズに応える農産物で、
農地活用と雇用創出をはかり、

既成概念にとらわれず

創意と工夫で楽しみを見つけ

私達・お客様・社会と協同の

喜びと平安を創ります。

株式会社かまくらや

会社の目指す姿を明確に

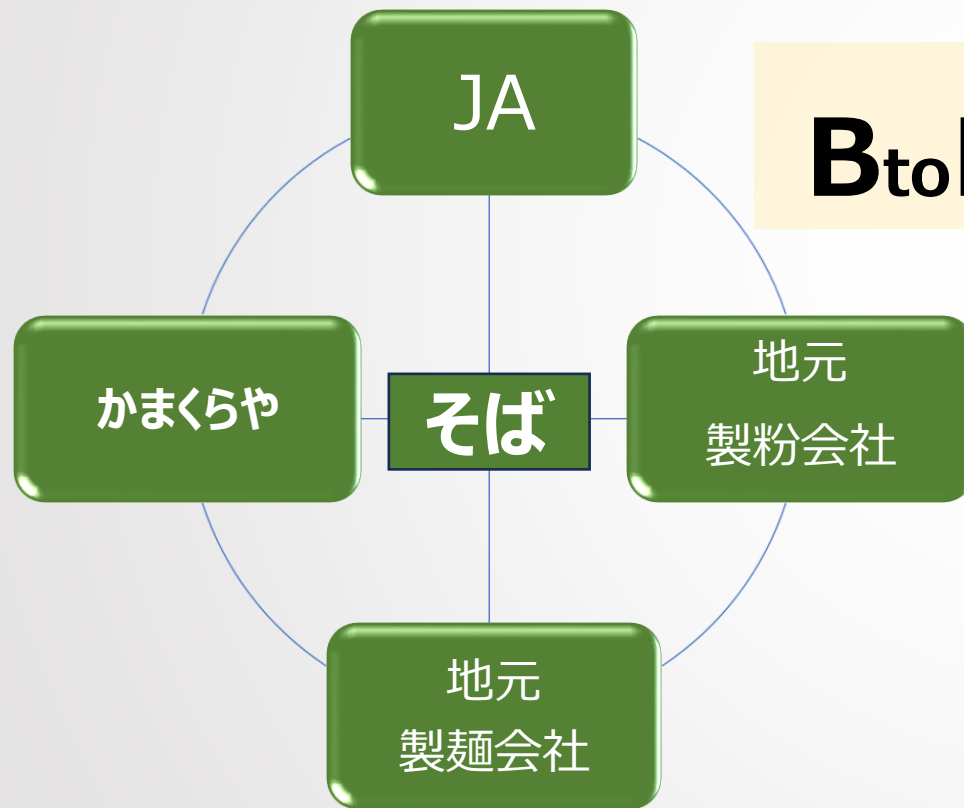
【持続可能な農業実現のための事業の方向性】

- * 地域企業のニーズに応える農産物の安定供給
- * 地域と協同で社会の困りごと解決に取り組む

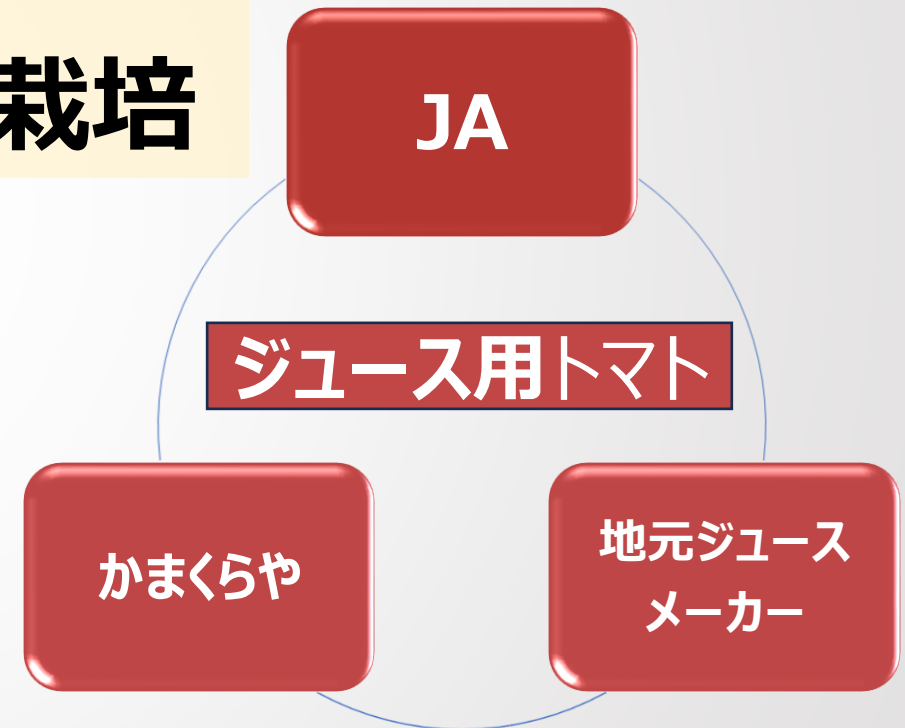
マーケットの理解が大切

- * 市場
- * 農地
- * 農業

「地域に必要な農産物を安定供給する」



BtoBで契約栽培



地域関係者と協働で安定供給体制を構築中

【持続可能な農業実現のための事業の方向性】

＊機械化・IOT化で仕事の効率化・見える化を図り生産性向上を目指す

		2024年5月																								2024年6月																													
▼ 絞り込み		開く		閉じる		6	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9					
						金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日					
						引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	仏滅	大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引			
工程名																																																							
>	2024りんご					期防除④						高密植スイ...		摘果剤散布		定期防除⑤								スイー...		ゴールドー...		定期防...		除...名月一輪摘果		ふじ一輪摘果		定期防除⑦				スイー...		高密植ゴール															
>	2024たまねぎ					ーゴーサン散布						防除⑤												防除⑥																															
>	2024トマト							定植A		195 a				補植A										A...		定...		A1防徐				A...																							
>	2024野沢菜,緑大根																																																						
>	2024防除					まねぎゴーゴーサン・防除④		たまねぎアクチノール・防除⑤										た...		トマトA1																																			
>	2024育苗					4/25						G配苗5/2						H...		I...		J...		B摘芯		5/10 C摘芯...		A定植...		B...		E定植...		C定植...		D...																			
>	2024唐辛子																																																						
大工程を追加																																																							

【作業報告（生産Gr）】

★本日の作業内容

除草剤散布1回目

★本日の作業実績

10ha/12ha 進捗/目標 達成率83%

【作業報告（生産Gr）】

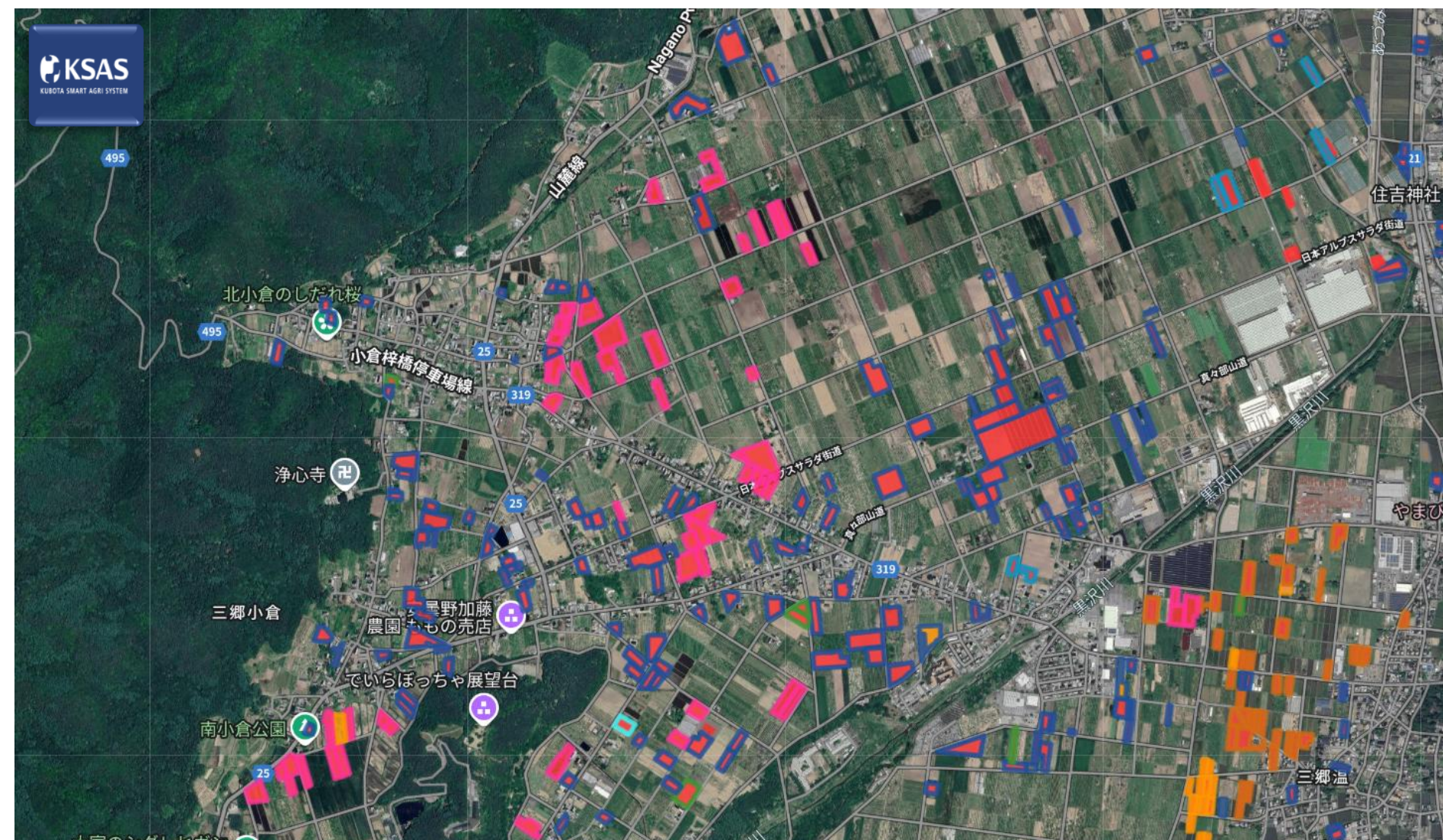
★本日の作業内容
除草剤散布1回目

★本日の作業実績
10ha/12ha 進捗/目標 達成率83%

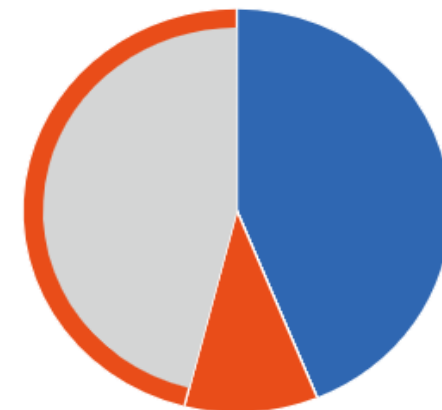
★進捗率 / ★経過率
週間目標 10ha/25ha 40%
週間達成 108ha/166ha 65%
全体目標 108ha/195ha 55%

★気づきや課題
残り西山 -3日 四賀18日
作業回数10回
作業回数 西山10/12回 西山+四賀 10/26回
目標と進捗差 -38ha

西山耕起2回目 〇・㊦・㊦・㊦・㊦ 6 ㊦・〇 06:00-		打ち合わせ、トラクタ確認 永井 春輝 〇加工用トマト 〇・㊦・㊦・㊦・㊦ 3 ㊦・〇 10:00-12:00		大豆ZOOM会議 永井 春輝 〇・㊦・㊦・㊦・㊦ 1 ㊦・〇 16:00-17:00	
東 夏そば耕起2回目 黒岩 英成 〇夏そば、生産Gr東山unit 〇・㊦・㊦・㊦・㊦ 2 ㊦・〇 09:00-16:00 X74+バーチャル1.7ha ATK①+サーフ0.6ha 山辺⇒大村⇒四賀A 目標数値: 2.5 単位: ha		東 夏そば耕起2回目 黒岩 英成 〇夏そば、生産Gr東山unit 〇・㊦・㊦・㊦・㊦ 2 ㊦・〇 09:00-16:00 X74+バーチャル1.7ha ATK①+サーフ0.6ha 山辺⇒大村⇒四賀A 目標数値: 2.5 単位: ha		東 夏そば耕起2回目 黒岩 英成 〇夏そば、生産Gr東山unit 〇・㊦・㊦・㊦・㊦ 2 ㊦・〇 09:00-16:00 X74+バーチャル1.7ha ATK①+サーフ0.6ha 山辺⇒大村⇒四賀A 目標数値: 2.5 単位: ha	
東 夏そば耕起2回目 黒岩 英成 〇夏そば、生産Gr東山unit 〇・㊦・㊦・㊦・㊦ 2 ㊦・〇 09:00-16:00 X74+バーチャル1.7ha ATK①+サーフ0.6ha 山辺⇒大村⇒四賀A 目標数値: 2.5 単位: ha		東 夏そば耕起2回目 黒岩 英成 〇夏そば、生産Gr東山unit 〇・㊦・㊦・㊦・㊦ 2 ㊦・〇 09:00-16:00 X74+バーチャル1.7ha ATK①+サーフ0.6ha 山辺⇒大村⇒四賀A 目標数値: 2.5 単位: ha		東 夏そば耕起2回目 黒岩 英成 〇夏そば、生産Gr東山unit 〇・㊦・㊦・㊦・㊦ 2 ㊦・〇 09:00-16:00 X74+バーチャル1.7ha ATK①+サーフ0.6ha 山辺⇒大村⇒四賀A 目標数値: 2.5 単位: ha	
山辺排水処理 黒岩 英成 〇夏そば、生産Gr東山unit 〇・㊦・㊦・㊦・㊦ 2 ㊦・〇 10:00-16:00 1.12 1.31 1.27 1.28		山辺石拾い 黒岩 英成 〇夏そば、生産Gr東山unit 〇・㊦・㊦・㊦・㊦ 2 ㊦・〇 09:30-11:00			



進捗 44%



全体 : 15188 a (894圃場)

- 完了 : 6662 a (357圃場)
- 未完了 : 6993 a (447圃場)
- 指示 : 1533 a (90圃場)
- 作業中 : 0 a (0圃場)
- 中断 : 0 a (0圃場)

一番の生産性向上は面的な農地集約

これを実行するには地域の農業関係者との連携が必要不可欠



*** 既存概念にとらわれず創意と工夫で楽しみを見つける人財育成 !!**

2025年生産Grカイゼン活動計画 責任者：生産Gr課長・黒岩英成 課長代理・永井春輝

テーマ：全員で小集団活動を実施し、職場でカイゼン活動が定着する
～ 自分たちができる作業カイゼンを実行し成果を実感する ～

【問題点】* 問題の明確化や現状把握の方法を学び日々の仕事の中で
カイゼン活動を実践。やらされ感を脱却し自分たちからのカイゼンを!!

第1回 * 小集団活動・カイゼン活動の進め方や考え方を学ぶ (3月中旬)

第2回 * 課題に沿った課題の明確化、現状把握 (5月中旬)

第3回 * 問題点の現状把握、深堀、対策立案 (6月中旬)

第4回 * カイゼンの効果測定実施、改善報告書の作成 (12月上旬)

第5回 * TPS勉強会、小集団活動の成果報告会 (1月中旬)



*** 生産性向上**

作物だけではなく会社も社員も育つ環境整備を行う必要がある。

*** 労働環境
の向上**

作物ごとの利益管理や生産性も大切な要素に。



カイゼン活動や日々の作業計画を作成し、生産性を高め、1人当たり粗利益高を伸ばしていく。

加工・2次産業



- ・自社栽培の玄そばを自社製粉して販売
- ・自社製粉のそば粉を使用した蕎麦かりんとうの製造



販売・3次産業

私たちが愛情込めて栽培、加工した蕎麦製品・りんごなどの商品を、松本城近くの

＊SOBA農房かまくらや（お土産屋）、

＊そば処かまくらや（蕎麦屋）、

の直営店2店舗にて販売中

* 農業者の所得を高める「6次産業化」の役割

- 農産物を単に販売するだけでなく、自ら加工や販売まで手掛ける「6次産業化」は農業の可能性を広げる重要な取り組みです。生産者（1次産業）が加工（2次産業）および流通・販売（3次産業）に関わることで、
収益性を向上させ、地域経済の活性化を目指す取り組み。

・ 加工品の製造・販売

そば粉の製粉やリンゴを使ったアップルパイやジュース、ジャム、シードルなどを開発し、自社ブランドで展開。

・ 農家レストランの運営

自家生産の自社製粉の蕎麦粉を生かした蕎麦屋を運営し訪れた人々に「食の体験」を届けています。

・ 体験プログラムの提供

自社の蕎麦粉を使用したそば打ち体験を地元のそば打ち愛好家の方と共同で提供し生産者と消費者の距離を縮めています。この取り組みにより所得の安定が期待できます。また、地域での農業以外の関係作りも広がりイベント等を通じて過疎地域の活性化にも貢献しています。

* 創業期は農作物の付加価値を高める役割を担う

ただし… **農業者だけでは限界も。**



6次産業化は安定した財務基盤を創る手段に。

＊土地利用型の穀物栽培は収入が偏るため、事業の最適化を図りながら
売上の平準化・財務基盤の強化が必須

地 域		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
北海道（秋ソバ）					種まき			収穫		
その他 の地域	夏ソバ		種まき		収穫					
	秋ソバ					種まき			収穫	

図2. 各地のソバ栽培暦

かまくらや

融資

金融機関

- ・ JAバンク
- ・ 地方銀行

補助金

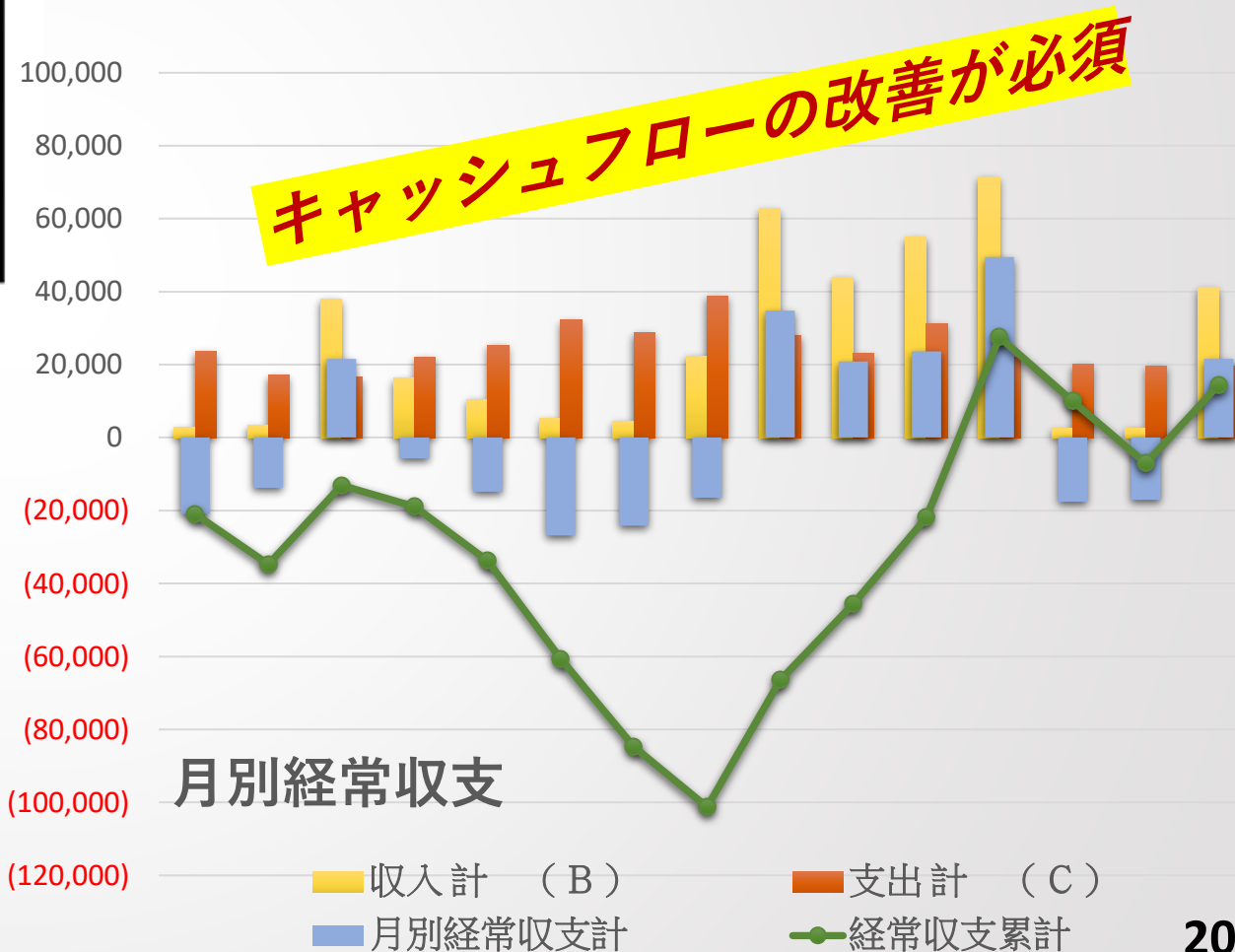
行政

- ・ 国
- ・ 長野県
- ・ 松本市
- ・ 安曇野市

資本

出資

- ・ 取引先食品会社
- ・ ファンド



* 多様な資金調達で安定した経営を実現へ

* 2022年に増資（取引があった地元食品業者から）

農業者だけでは気が付かない、
対応できない課題も見えてくる

(株)かまくらや

出資

- 取引先食品会社
- ファンド

- * 資金使途に制約がない
- * 自己資本が充実して財務内容が改善
- * 借入金のように定期的な返済が不要
- * 顧客との関係構築と市場理解
- * 長期的な成長戦略
- * リスク管理とコンプライアンスの徹底
- * 外部ネットワークの構築と活用
- * 社内の都合や利害関係に縛られずに
第三者の視点で経営をチェックする。

《そば最大出荷先》
地元のそば製麺会社

《トマト出荷先》
地元のジュース用メーカー

《農業系》
ファンド

農地所有適格法人

定められた4つの要件を満たす必要

- * 法人形態要件
- * 事業要件
- * 構成員・議決権要件

基本的には構成員のうち、農業関係者が総議決権の過半数を占めることで要件が満たされます。また農業や関連事業には、年間150日以上従事しなくてはなりません。

- * 役員要件

農業経営発展計画制度が始まります！

こんな法人にオススメです

- ・設備投資のために資金調達したいが借金はできない
- ・生産体制の強化を図り取引量を増やしたい
- ・安定的な販路の確保で経営の安定・発展を図りたい
- ・法人の規模を拡大したいが経営・雇用管理が難しい



どんな制度？

- ①農地所有適格法人^(※1)が計画^(※2)を申請し、
- ②国の審査・認定を受けることで、
- ③食品事業者等からの資金調達を拡充^(※3)できます

※1 農地法上の所定の要件を満たすことで農地の所有が認められる法人

※2 出資により食品事業者等との連携を図ることで農業経営を発展させるための計画（農業経営発展計画）

※3 出資について、農業関係者と食品事業者等の出資割合を1/2超えることとして、

経営基盤の強化のため
今後、活用していきたい

- ・資本の充実、経営基盤を強化

農業経営発展計画制度とは

認定農業者として一定の実績があること等の要件を満たす農地所有適格法人が、できるものです。取引実績のある食品事業者等との出資による連携を通じて農業経営の発展に取り組む場合、農林水産大臣の計画認定によって議決権要件を特例的に緩和。

2024年 かまぐらや生産・販売実績									
		品目		経営面積 (反)		反収 (kg)		収量 (kg)	
生産 Gr	第1生産 Unit	キタワセ夏そば		1,170		125		146,250	
		キタワセ秋そば		1,200		100		120,000	
		だったんそば		50		60		3,000	
		そば計		2,420		111		269,250	
		大豆		441		100		44,100	
		麦		139		200		27,800	
		米		6		2		12	
		緑肥		190					
	合計		3,196						
	第2生産 Unit	りんご		14.1		2		28.2	
		玉ねぎ		経営面積 10	作付面積 7.2	3		21.6	
		ジュース用トマト		110	81.3	6		487.8	
		野沢菜		70	50.4	2		140.8	
		緑大根		3	2.0	1		6.0	
合計		207							
生産Gr計				3,403					
		チーム		年間売上高					
販売加工 Gr	店舗・製粉 Unit	製粉		11,100,000					
		営業		8,000,000					
		soba農房		26,650,000		13,102,450			
		そば処		19,000,000		16,337,951			
		販売加工Gr合計		64,750,000		42,076,199			
全体売上合計						301,607,000			

担当部門	責任者	副責任者
全Gr	社長	倉科英美

の整備を実現。

担当部門	責任者	副責任者
西山・東山	永井春輝	黒岩英成

を実現。

担当Gr	責任者	副責任者
西山・東山	永井春輝	黒岩英成

を実現。

担当部門	責任者	副責任者
西山・東山	黒岩英成	永井春輝

の見直しを図り
な畑を実現。

担当部門	責任者	副責任者
西山・東山	村松裕	上條幹生



2025年度
かまくらや
《2025年1月～

シュース用トマト収支計画			
【 作物 】	作物名	品種名	
	トマト	NDM3393	
【 生産費予算 】	全体面積(10a)	作付面積(有効率73%)	反収(kg)
	110	81.3	6,500
【 農産物売上 】	【 10a当り 】		
	反収(kg)	販売単価(円)	10a当り(円)
	6,500	53	344,500
【 変動費予算 】	【 変動費10a当り 】		
	種苗費	肥料費	農薬費
	48,360	16,787	27,094
	【 変動費全体 】		
	種苗費	肥料費	農薬費
	3,931,184	1,364,599	2,202,447
【 限界利益額 】	限界利益額	限界利益率	
	17,678,401	63.1%	
種・苗費 (10a)			
品目	単価	定植本数	金額

（17期）

経営指針

2025年12月≫

[illegible]

【夏そぼ・だったんそぼ】経営計画			
休養管理責任者：課長代理 永井春輝 係長 長岩佑弥 除害管理責任者：主任 中野大希 ・ 狭久保龍真、若林創太郎、宮牧慎太郎、木下進一郎、畠山大輝、深澤肇也 方針			
圃を徹底し反収125kg、収量146tを実現します。【夏そぼ、反収125kg 収量146 t、耕起深度20】 い気候条件に対応した栽培方法の見直しを行う。） ・ 社員個人の能力に依存せず 計画通りの作業ができるチーム を目指します。			
方針に対する具体的な行為		誰が	いつ
圃が出来る体制にする。 夏メッシュデータを活用して →④→有明→②③→⑥→⑤→下角→中塚→大宮→金松→上野）		＊責任者 永井春輝 ＊長岩責任者 長岩佑弥 ＊タカ責任者 中野大希	・ 昼礼終礼 仕組みとして定着 ・ 湿害対策：1回目耕起前 ・ 再播種：霜害後2日以内 ・ 肥料設計：2月中旬までに ・ 播種深度調整：随時
圃の稼働率を上げる。		＊責任者 永井春輝 ＊副責任者 長岩佑弥	・ 播種、施肥量試験 (5/2に下角で実施) ・ 受粉率試験 6/3近辺、下角で実施
圃の収益性を上げる。		＊責任者 永井春輝 ＊副責任者 長岩佑弥 ＊責任者 長岩佑弥 ＊副責任者 若林創太郎	・ カイゼン実施日 各チームで設定 ・ トラブルのデータ化 (3月より試験的に実施) ・ メンテナンス…そぼ播種後実施 ・ ハーフソイラ…3月に実施 ・ 再播種 …降雨後は必ずコンディション の回復を待って実施
目標数値			
収量（kg）	年間売上高	原野利益	原野利益
146,250	99,065,650	90,642,910	90.5%
3,000	2,619,933	1,892,388	72.2%

2025年 かまくらや生産・販売計画一覧									
品目	経営面積 (㎡)	反収 (kg)	収量 (kg)	年間売上高	年間反収(kg)	収穫量 (kg)	単位	生産G r	販売G r
キタウセ夏そば	1,220	110	134,200	91,215,344	97.7	113,310	77	113,310	77
キタウセ秋そば	1,300	80	104,000	64,679,960	64.3	77,513	64	77,513	64
麦	141	150	21,150	2,594,400	105.7	14,697	106	14,697	106
大豆	51	100	5,100	1,936,980	35.0	15,450	35	15,450	35
玉ねぎ	10	7.2	3,000	2,160,000	1,014	44,300	44	44,300	44
ジュース用トマト	110	80.0	6,000	480,000	25,441,988	3,385	294	294	294
野沢菜	60	43.2	2,400	103,680	7,050,240	2,211	15	15	15
合計	2,712		0	195,078,912					
キタウセ夏そば	250	60	15,000	10,340,314	0				
キタウセ秋そば	250	40	10,000	6,533,535	0				
だったんそば	69	30	2,070	1,390,580	33				
米	6	0	0	327,600	14				
飼料	162	500	81,000	1,620,000					
合計	737			20,212,029					
生産G r	3,449			215,290,941					

品目	年間売上高	限界利益額	限界利益率
チーム	11,100,000	9,256,848	83.4%
製粉	8,500,000	4,489,448	52.8%
営業	23,200,000	19,627,200	84.6%
りんご	3,818,410	2,461,663	64.5%
soDa農房	29,500,000	16,913,537	57.3%
販売加工Gr合計	76,118,410	52,748,696	69.2%
全体売上合計		291,409,351	



と残業時間管理でムリ・ムダ・ムラのない職場へ

2025年Gr別残業時間予算															
		西山そば		玉ねぎ・大豆 ジュース用トマト		車山そば		販売加工Gr		みらい園					
		8		3		3		7		4					
品目	時間	定員	実残業時間 (1人当り)	定員	実残業時間 (1人当り)	定員	実残業時間 (1人当り)	定員	実残業時間 (1人当り)	定員	実残業時間				
1	8:04	10:04	32:00	4:00	9:00	3:00	12:00	4:00	28:00	4:00	8:00				
2	162:36	-62:36	32:00	4:00	12:00	4:00	12:00	4:00	28:00	4:00	167:36				
3	136:50	20:10	40:00	5:00	12:00	4:00	15:00	5:00	70:00	10:00	20:00				
4	40:23	22:21	176:00	22:00	30:00	10:00	66:00	22:00	105:00	15:00	20:00				
5	42:31	87:46	160:00	20:00	36:00	12:00	60:00	20:00	175:00	25:00					
6	283:56	-13:56	80:00	10:00	30:00	10:00	30:00	10:00	70:00	10:00					
7	649:59	5:01	320:00	40:00	30:00	10:00	12:00	40:00	105:00	15:00					
8	777:52	-7:52	320:00	40:00	75:00	25:00	12:00	40:00	175:00	25:00					
9	11:55	234:25	63:35	64:00	8:00	45:00	15:00	24:00	8:00	105:00	15:00				
10	14:43	288:05	79:55	96:00	12:00	36:00	12:00	36:00	12:00	104:00	20:00				
11	8:36	188:41	26:19	40:00	5:00	15:00	5:00	15:00	5:00	105:00	15:00				
12	4:07	104:10	-1:10	24:00	3:00	15:00	5:00	9:00	3:00	35:00	5:00				
13	158:26	3751:31	209:29	1384:00	173:00	345:00	115:00	519:00	173:00	1141:00					
14	12:12		14:25		9:35		14:25		13:35						
2024年Gr別残業時間実績															
定員		第1生産Gr			第2生産Gr			販売加工Gr			みらい園				
品目	時間	定員	実残業時間 (1人当り)	予算	品目	時間	定員	実残業時間 (1人当り)	予算	品目	時間	定員	実残業時間 (1人当り)	予算	
1	9:04	4:00	7:00	24:00	8	8:32	3:00	12:00	9:30	1:00	1:00	1:00	15:00	10:00	25:00
2	162:36	7:20	7:00	87:36	34:30	5:50	30:00	-4:30	9:55	1:00	1:00	5:00	75:50	14:20	15:00
3	136:50	8:11	3:00	33:10	13:46	5:11	30:00	76:16	5:04	1:12	23:00	19:54	80:48	14:11	25:00
4	40:23	22:21	340:00	62:20	88:28	27:07	60:00	25:53	4:58	1:00	20:00	33:57	92:57	14:27	15:00
5	42:31	87:46	208:00	140:14	120:09	10:21	100:00	10:56	14:54	10:21	35:00	14:56	110:41	25:00	50:00
6	283:56	13:24	385:00	101:04	87:42	6:44	200:00	152:18	40:12	6:02	50:00	5:48	70:05	13:41	25:00
7	649:59	20:32	613:00	34:50	36:50	14:12	400:00	38:10	51:37	13:00	75:00	23:23	84:18	50:00	50:00
8	777:52	32:11	630:00	187:32	107:32	10:21	100:00	10:56	14:54	10:21	35:00	14:56	110:41	25:00	50:00



毎年3月には決算報告と
経営計画（経営指針）
を社員、株主、はもちろん
取引先、金融機関、JAな
どの方々と共有

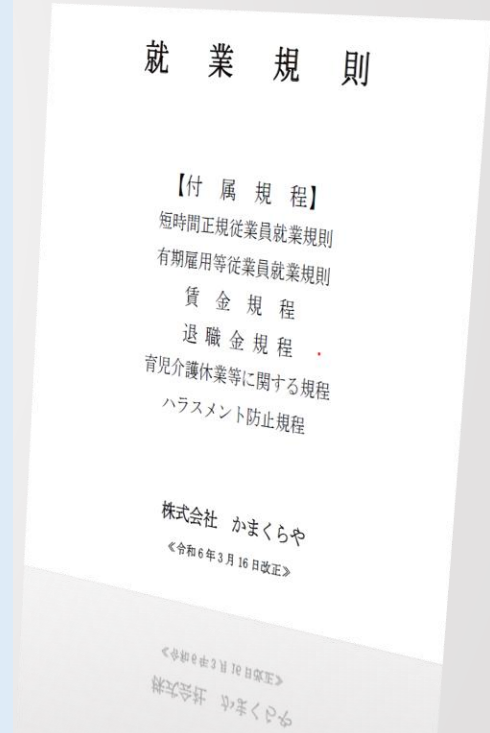
【 企業の社会的責任 】

地域と協同で社会の困りごとと解決に取り組み、持続可能な社会を創るために。

企業として継続的に農地を耕作し続ける （社員から社員に繋ぎ継続していく）

- ・農地と雇用の受け皿として継続・発展していく
（日本一の蕎麦農家。蕎麦だけではなく他の作物でも…）
- ・労働環境や就業規則の整備
短時間正社員制度・残業・休日日数
有給取得率向上（100%へ向けて）
- ・地域の一般企業（製造業・JA）と同等の賃金、ボーナス
- ・障がい者もいきいきと働くことができる会社

＊ 地域に必要とされ持続可能な会社作りのために



・新卒採用を10年連続で実施し5年未満の若手社員が大半

・・・現在平均年齢は31歳

理念で繋がり

農産業を主軸にしたチーム（会社）が 戦略 を基に

地域の困り事解決で、地域に必要とされる会社となり

社員から社員へと《 維持・継続・発展する 》繋ぐ

持続可能な農業の会社作りを実践中です!!



地域と共に未来を拓く

～ 地域社会との連携で創る 「 持続可能な農業 」 ～

ご清聴ありがとうございました